

令和2年12月16日

安芸太田町立中学校
2学年保護者様

安芸太田町立中学校合同修学旅行実行委員会
令和2年度委員長 羽村 昭彦
(安芸太田町立加計中学校長)
安芸太田町立安芸太田中学校長 沖本 直樹

令和2年度安芸太田町立中学校合同修学旅行の
実施時期の再検討について（お知らせ）

先日は、修学旅行説明会にご出席くださり、ありがとうございました。

12月15日を締め切りにして修学旅行への参加申込書を提出していただきましたが、全体の参加率が8割であること、また、12月11日に今後の感染対策について広島県・広島市「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」※が発表されたことを踏まえ、実施予定の1月25日～27日の感染状況が懸念されるため、実施時期を再検討することとしました。

については、長崎方面の修学旅行を3月に実施可能かどうか、旅行取扱業者と早急に検討してまいります。

また、今後の新型コロナウイルス感染症の第三波以降の状況によって、集団での行動や移動が制限されるような事態が生じた場合には、修学旅行の実施自体を検討しなければならない場合も想定されます。

保護者の皆様には、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

※（参考）

広島県・広島市「新型コロナ感染拡大防止集中対策」について

12月11日に発表された広島県・広島市「新型コロナ感染拡大防止集中対策」において、「11月下旬以降、広島市内を中心に新型コロナ感染者数は急増し、感染状況は県内全域にわたって拡大基調となっている。こうした中、本県の現状はステージ2であるが、広島市の感染者の新規報告数(直近1週間の10万人当たり)は既にステージ3を超えステージ4に近い状態であり、このままでは県全体に感染が拡大し県全体で同様の事態に陥り、県民・市民の命、健康、生活に大きな影響が及ぼされるリスクがある。」とし、12月12日(土)～1月3日(日)を集中対策期間として感染拡大防止対策に取り組むことが示されました。

県民への要請として、次のように示されています。

(4) 県民及び県内事業者への要請

本集中対策については、広島市民及び広島市内にある店舗等の施設で事業活動を行っている事業者及び広島市内にある事務所等の施設運営者の方に対する要請であり、広島市民及び広島市内の事業者を含めた県民・事業者の方に関しては、対処方針に基づいた感染防止対策等の徹底に加え、次の事項を要請する。

ア 年末年始の帰省の自粛

感染拡大地域(都道府県が住民に不要不急の外出自粛を呼び掛けている自治体や、直近7日間の人口10万人当たりの新規陽性者数が15人以上の自治体)から及び同地域への年末年始の帰省については、共同生活による家族間の感染拡大リスクが排除できないことから、時期の変更などを検討し、控えること。

また、広島市から広島市外及び県内他市町から広島市への年末年始の帰省についても、時期の変更などを検討し、控えること。